

日本の株式市場改革の遅れと中堅・中小企業、ベンチャー企業の成長停滞
【補足データ】

米国企業の未上場株式市場からの資本調達一事例集一

1. スタートアップ・ベンチャー企業のユニコーン・IPOへの資本形成

事例 1 - 1 Uber Technologies, Inc. (ライドシェア・サービス)

事例 1 - 2 Zoom Video Communications, Inc. (コミュニケーション・ツール)

事例 1 - 3 908 Devices, Inc. (超小型質量分析器等製造業)

2. 中小企業の大企業への資本形成

事例 2 - 1 TPI Composites, Inc. (複合材料構造物製造業)

事例 2 - 2 Honest Company, Inc. (婦人・乳児向け日用品小売業)

事例 2 - 3 Gilmore Homes Gilmore Loans, LLC (不動産業)

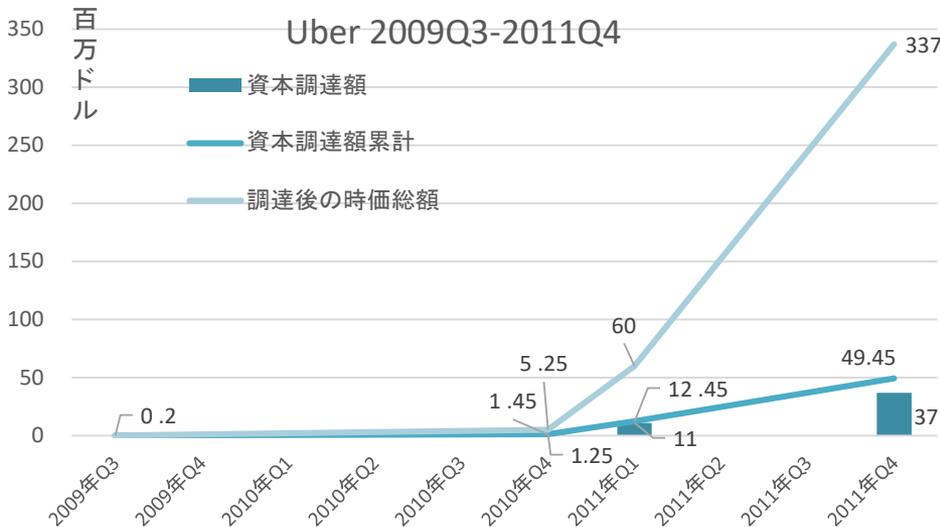
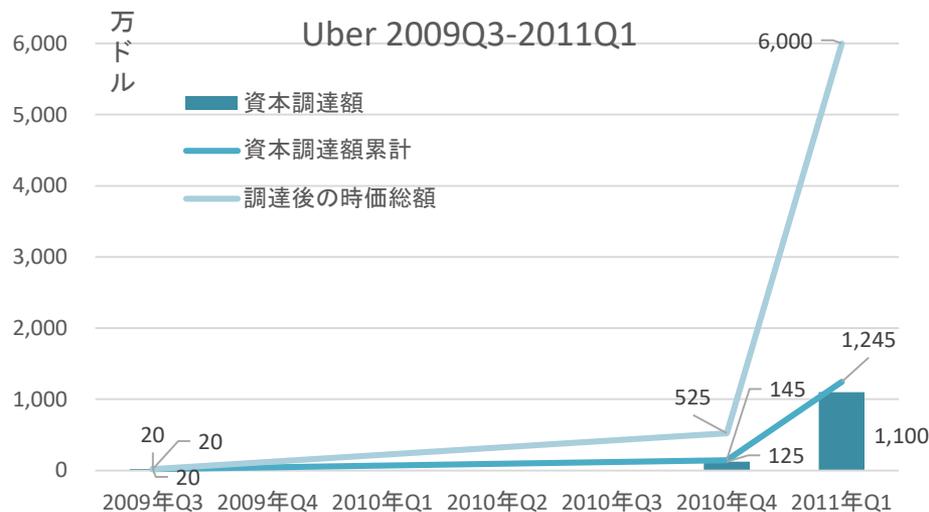
事例 2 - 4 Muscle Maker, Inc. (飲食業・レストランチェーン)

米国企業の未上場株式市場からの資本調達

1. スタートアップ・ベンチャー企業のユニコーン・IPOへの資本形成

事例 1 - 1 Uber Technologies, Inc.

○ライドシェアサービスを展開するウーバーは、2009年の設立後、まず、個人投資家やベンチャーキャピタルから投資を受け、その後、レギュレーションDに基づく私募等により、未上場株式市場（プライベート・マーケット）からの巨額の資本調達を繰り返して成長した。この間、未上場株式がセカンダリーマーケット（転売市場）で取引されるようになり、時価総額が資本調達額の累計を大きく超えている。シリーズBの後には、時価総額が10億ドルを超えるユニコーン企業となった。



公表日、開始日等	ラウンド名等	資本調達額	資本調達額累計	資本調達後の時価総額*1	免除規定等*2	募集額	SECへの提出日、効力発生日等
2009年8月	設立						
2009年8月8日	シードラウンド	20万ドル	20万ドル	20万ドル			
2010年10月15日	エンジェルラウンド	125万ドル	145万ドル	525万ドル			
2011年2月14日	シリーズA	1,100万ドル	1,245万ドル	6,000万ドル			
2011年12月7日	シリーズB	3,700万ドル	4,945万ドル	3億3,700万ドル	レギュレーションD ルール506 株式の私募	3,900万ドル	2012年2月27日

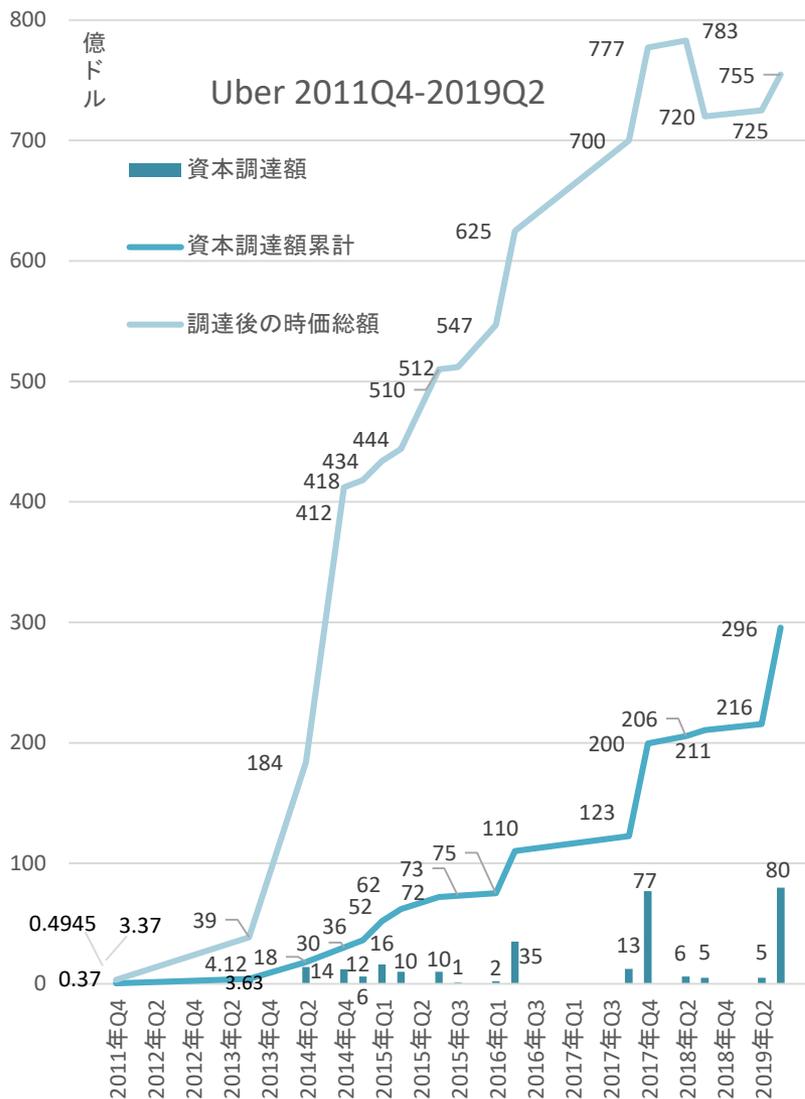
出所：資本調達額、時価総額はCrunch Base。免除規定と募集額はSEC EDGAR。ラウンドと免除規定の突き合わせは筆者の推定を含む（以下同じ）。

* 1 資本調達後の時価総額は、資本調達前の時価総額（Crunch Baseのデータ）に資本調達額を加えたもの。

* 2 ここでは、株式の公募に課される厳格な開示義務を免除する規定、又はセーフ・ハーバー・ルールに基づくSECへの登録・届け出等であってEDGARで公衆縦覧（開示）されるものを記載している。EDGARでの公衆縦覧を伴わない免除規定やセーフ・ハーバー・ルールとしては、証券法第3条(a)(11)及びルール147又はルール147Aの州内に限定された株式の公募（州法に基づく株式の登録義務はある）、証券法第4条(a)(2)の私募、並びにこれらの私募及びルール144Aに基づく適格機関購入者への転売（セカンダリーマーケット）などがある。

事例1-1 Uber Technologies, Inc.(続き)

〇Uberはユニコーン企業となった後もレギュレーションDに基づく私募等による10億ドルを超える巨額の資本調達を繰り返し、投資資金の確保と、株主との戦略的な事業提携を進め、グローバルメジャーとなって、時価総額750億ドル程度でIPOを実施した。



公表日、開始日等	ラウンド名等	資本調達額	資本調達額累計	資本調達後の時価総額	免除規定等	募集額	SECへの提出日、効力発生日等
2013年8月23日	シリーズC	3億6,300万ドル	4億1,245万ドル	38億6,300万ドル	レギュレーションD ルール506 株式、優先株式の私募	2億7,279万ドル	2013年8月27日
					レギュレーションD ルール504(b)(1) 株式の500万ドル以下の 小規模公募	99万ドル	2014年7月29日
2014年6月6日	シリーズD	14.0億ドル	18.1億ドル	184.0億ドル	レギュレーションD ルール506(c) 株式の適格投資家私募	13億4,263万ドル	2014年11月17日
2014年12月4日	シリーズE	12.0億ドル	30.1億ドル	412.0億ドル	レギュレーションD ルール506(c) 株式の適格投資家私募	28億0,333万ドル	2015年5月13日
2014年12月12日	シリーズE	6.0億ドル	36.1億ドル	418.0億ドル			
2015年1月21日	転換社債	16.0億ドル	52.1億ドル	434.0億ドル	レギュレーションD ルール506(c) 社債、新株引受権、 償還可能転換優先株式等の 適格投資家私募	16億9,051万ドル	2015年5月13日
2015年2月18日	シリーズE	10.0億ドル	62.1億ドル	444.0億ドル			
2015年7月31日	シリーズF	10.0億ドル	72.1億ドル	510.0億ドル			
2015年8月19日	プライベート・ エクイティ	1.0億ドル	73.1億ドル	512.0億ドル			
2016年2月12日	プライベート・ エクイティ	2.0億ドル	75.1億ドル	547.0億ドル			
2016年6月1日	シリーズG	35.0億ドル	110.1億ドル	625.0億ドル			
2017年12月28日	ベンチャー・シ リーズ	12.5億ドル	122.6億ドル	700.0億ドル 7兆7,000億円*1			
2017年12月28日	セカンダリー・ マーケット	77.0億ドル	199.6億ドル	777.0億ドル 8兆5,470億円			
2018年5月23日	セカンダリー・ マーケット	6.0億ドル	205.6億ドル	783.0億ドル 8兆6,130億円			
2018年8月27日	コーポレート・ ラウンド	5.0億ドル	210.6億ドル	720.0億ドル 7兆9,200億円			
2019年4月26日	Post-IPO エクイティ	5.0億ドル	215.6億ドル	725.0億ドル 7兆9,750億円			
2019年5月9日	IPO	79.9億ドル	295.6億ドル	754.6億ドル 8兆3,009億円	株式登録届出書の提出 株式の公募	81億ドル	2019年5月9日 (効力発生日)
計		295.6億ドル	-	-	-	-	-

*1 1ドル=110円換算。以下同じ。

事例 1 - 1 Uber Technologies, Inc. (続き)

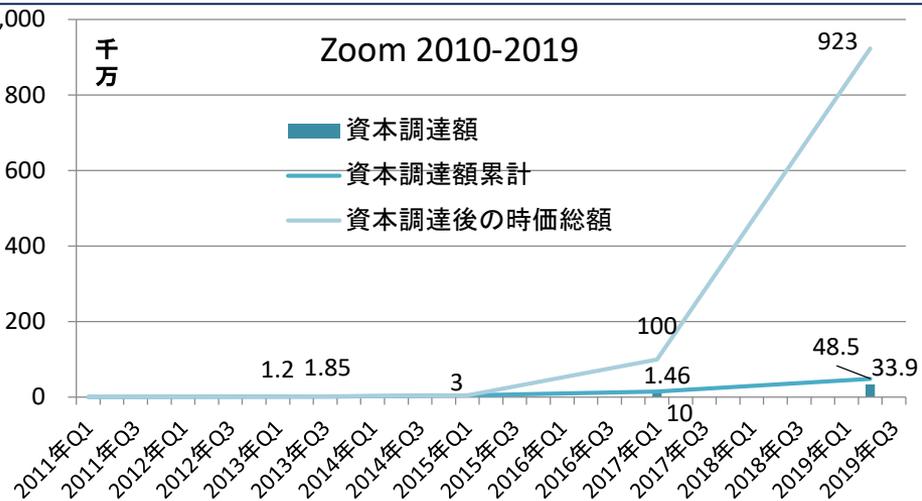
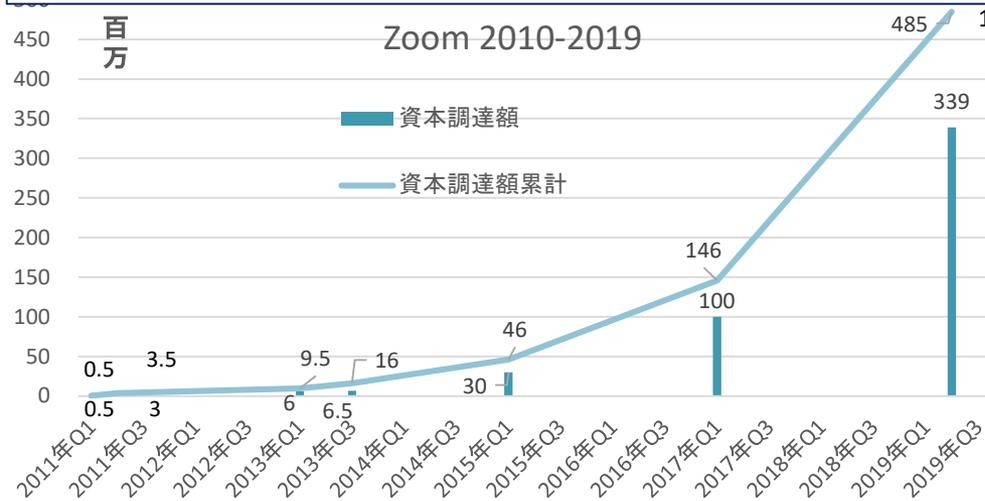
○ウーバー が実施した私募等による資本調達に応じた投資家は以下のとおり。初期は個人投資家、ベンチャーキャピタル等、その後は、金融機関、機関投資家、投資会社や海外の大規模なファンド、さらにはIT企業、自動車会社などが投資している。このようにウーバーは、私募により株主を選別して、資本調達による投資資金の確保と技術開発や国際展開等のための戦略的事業提携を併せて進めている。

公表日	Funding Type	調達額	主な投資家名 (下線はリードインベスター)
2009年8月8日	Seed	20万ドル	Garrett Camp, Travis Kalanick
2010年8月20日	Seed	-	Techstars, Techstars Ventures
2010年10月15日	Angel	125万ドル	A-Grade Investments, Adam Leber, AFSquare, Alfred Lin, Babak Nivi, Bechtel Ventures, Bobby Yazdani, Cyan Banister, David Sacks, DCVC, Dror Berman, <u>First Round Capital</u> , Founder Collective, Gary Vaynerchuk, Jason Calacanis, Jason Port, Jeremy Stoppelman, Josh Spear, Kapor Capital, Kevin Hartz, Khaled Helioui, Lowercase Capital, Mike Walsh, Naval Ravikant, Oren Michels, Scott
2011年2月14日	Series A	1,100万ドル	Alfred Lin, <u>Benchmark</u> , First Round Capital, Innovation Endeavors, Lowercase Capital, Scott Banister
2011年12月7日	Series B	3,700万ドル	Atom Factory, Cota Capital, DCVC, Eniac Ventures, Goldman Sachs, Jeff Bezos, Jeff Kearn, <u>Menlo Ventures</u> , Scott Belsky, Signatures Capital, Summit Action, Tuesday Capital
2013年8月23日	Series C	3億6,300万ドル	<u>GV</u> , John Kobs, Scott Belsky, Shawn "Jay-Z" Carter, TPG Growth
2014年4月1日	Funding Round	-	Lars Fjeldsoe-Nielsen
2014年6月6日	Series D	14億ドル	ACME Capital, BlackRock, <u>Fidelity</u> , GC Capital, General Atlantic, GV, Kleiner Perkins, Menlo Ventures, Summit Partners, Wellington Management
2014年9月28日	Secondary Market	-	ESO Fund
2014年12月4日	Series E	12億ドル	ACME Capital, <u>Glade Brook Capital Partners</u> , Jack Abraham, Lone Pine Capital, New Enterprise Associates, Qatar Investment Authority, Razmig Hovaghimian, Valiant Capital Partners
2014年12月12日	Series E	6億ドル	Baidu
2015年1月6日	Venture Series	-	Eric Tobias
2015年1月21日	Convertible Note	16億ドル	Goldman Sachs Investment Partners
2015年2月18日	Series E	10億ドル	ACE & Company, Brand Capital, Foundation Capital, <u>Glade Brook Capital Partners</u> , HDS Capital, IVP, Lead Edge Capital, Light Street Capital, Square Peg Capital, Sway Ventures, Times Internet, Tomales Bay Capital, Vulcan Capital
2015年2月23日	Secondary Market	-	Akkadian Ventures
2015年7月31日	Series F	10億ドル	408 Ventures, All Blue Capital, AppWorks, Bennett Coleman and Co Ltd, Eastlink Capital, Microsoft, MSA Capital
2015年8月19日	Private Equity	1億ドル	Tata Opportunities Fund (TOF)
2016年2月12日	Private Equity	2億ドル	Letterone Holdings SA
2016年6月1日	Series G	35億ドル	FortRoss Ventures, Geodesic Capital, London Impact Ventures, <u>Saudi Arabia's Public Investment Fund</u>
2016年7月7日	Debt Financing	11.5億ドル	Barclays, Citigroup, Goldman Sachs, <u>Morgan Stanley</u>
2017年4月19日	Series G	-	Axel Springer, G Squared
2017年12月28日	Secondary Market	77億ドル	Altimeter Capital, Didi, Dragoneer Investment Group, General Atlantic, Sequoia Capital, SoftBank Vision Fund, Tencent Holdings, TPG
2017年12月28日	Venture Series	12.5億ドル	SoftBank Vision Fund
2018年5月23日	Secondary Market	6億ドル	Altimeter Capital, Coatue, SharesPost Investment Management, TPG
2018年8月27日	Corporate Round	5億ドル	Toyota Motor Corporation

米国企業の未上場株式市場からの資本調達 1. スタートアップ・ベンチャー企業のユニコーン・IPOへの資本形成

事例1-2 Zoom Video Communications, Inc.

○テレビ会議システム等のサービスを展開するズームは、2010年の設立後、レギュレーションDに基づく私募等により未上場株式市場からの資本調達を続けて成長した。未上場株式がセカンダリーマーケットで取引されて時価総額が上昇し、2017年にユニコーン企業となり、2019年にはIPOを果たした。



公表日、開始日等	ラウンド名等	資本調達額	資本調達額累計	資本調達後の時価総額	SECへの提出日、効力発生日等	免除規定等	募集額
2010年2月5日	プレ・シードラウンド	50万ドル	50万ドル	50万ドル			
2011年	設立						
2011年6月1日	シードラウンド	300万ドル	350万ドル	600万ドル			
2013年1月28日	シリーズA	600万ドル	950万ドル	1,200万ドル			
2013年9月24日	シリーズB	650万ドル	1,600万ドル	1,850万ドル (以下、1ドル=110円)	2013年9月4日	レギュレーションDルール 506	650万ドル
2015年2月4日	シリーズC	3,000万ドル	4,600万ドル	4,850万ドル 53億3500万円	2015年2月10日	レギュレーションDルール 506(b)株式の私募	3,000万ドル
2017年1月17日	シリーズD	1億ドル	1億4,600万ドル	10億ドル 1,100億円	2017年1月26日	レギュレーションDルール 506(b)株式の私募	1億1,524万ドル
2019年4月19日	IPO	3億3,897万ドル	4億8,497万ドル	92億2,998万ドル 1兆0152億9795万円	2019年4月17日	株式の公募 株式登録届出書の提出	3億3,897万ドル
	計	4億8497万ドル		—	—	—	4億9,071万ドル

出所：資本調達額、時価総額はCrunch base。免除規定等とその募集額、IPOの募集額等はSEC EDGAR。シリーズと免除規定の突き合わせは筆者の推定を含む。©2021,H.Tadokoro,RIETI 4

米国企業の未上場株式市場からの資本調達 1. スタートアップ・ベンチャー企業のユニコーンへの資本形成

事例 1 - 3 908 Devices, Inc.

○超小型の質量分析器等を開発する908デバイスは、大学発ベンチャー企業として2009年に設立され、まずベンチャーキャピタルの投資を受け、その後、レギュレーションDに基づく私募等により未上場株式市場から資本調達を繰り返し成長した。未上場株式がセカンダリーマーケットで取引されて時価総額が上昇し、2020年にはIPOを実現した。

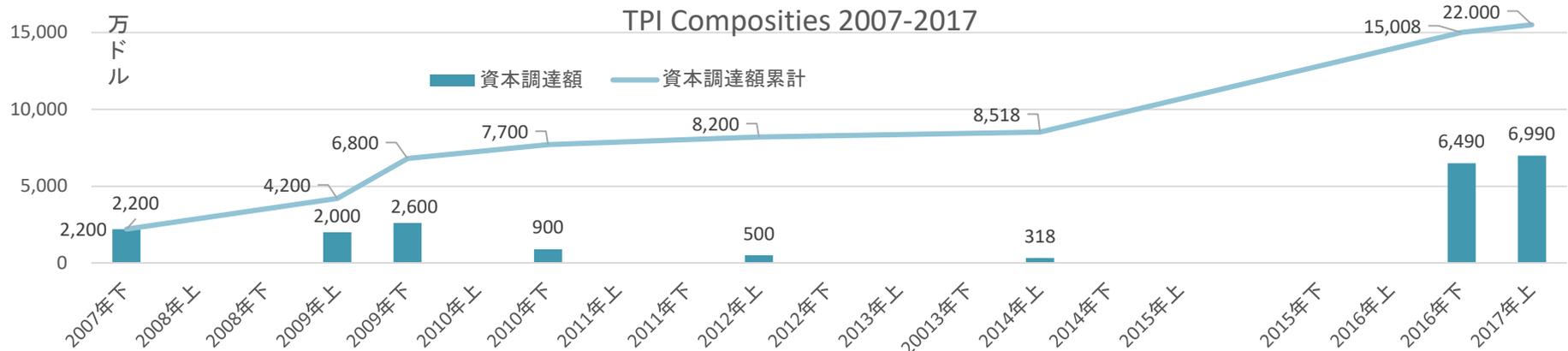


公表日、開始日等	ラウンド名等	資本調達額	資本調達額累計	資本調達後の時価総額	免除規定等	募集額	SECへの提出日、効力発生日等
2012年	設立	467万ドル	467万ドル	467万ドル			
2013年2月1日	シリーズA	811万ドル	1,278万ドル	1,278万ドル	レギュレーションDルール506 株式の私募	812万ドル	2012年9月4日
2013年8月27日	シリーズB	700万ドル	1,978万ドル	3,394万ドル	レギュレーションDルール506 株式の数私募	800万ドル	2013年8月27日
2015年5月6日	シリーズC-I	1,160万ドル	3,138万ドル	8,198万ドル	レギュレーションDルール506(b) 株式の私募	1,160万ドル	2015年5月6日
2015年7月1日	シリーズC-II	240万ドル	3,378万ドル	1億1,576万ドル (1ドル=110円)			
2017年3月15日	シリーズD-I	2,000万ドル	5,378万ドル	1億4,879万ドル 163億6690万円	レギュレーションDルール506(b) 株式の私募	2,400万ドル	2018年9月19日
2018年9月19日	シリーズD-II	400万ドル	5,778万ドル	9,993万ドル 109億9230万円			
2019年4月26日	シリーズE	1,750万ドル	7,128万ドル	1億9,287万ドル 212億1570万円	レギュレーションDルール506(b) 株式の私募 株式の公募	1,750万ドル	2019年4月26日
2020年12月18日	IPO	1億2,090万ドル	1億9,218万ドル	5億8,500万ドル 643億5000万円	株式登録届出書の提出	1億3,000万ドル	2020年12月17日

出所：ラウンドごとのデータはCB insight。免除規定とその募集額はSEC EDGAR。シリーズと免除規定の突き合わせは筆者の推定を含む。

事例 2 - 1 TPI Composites, Inc.

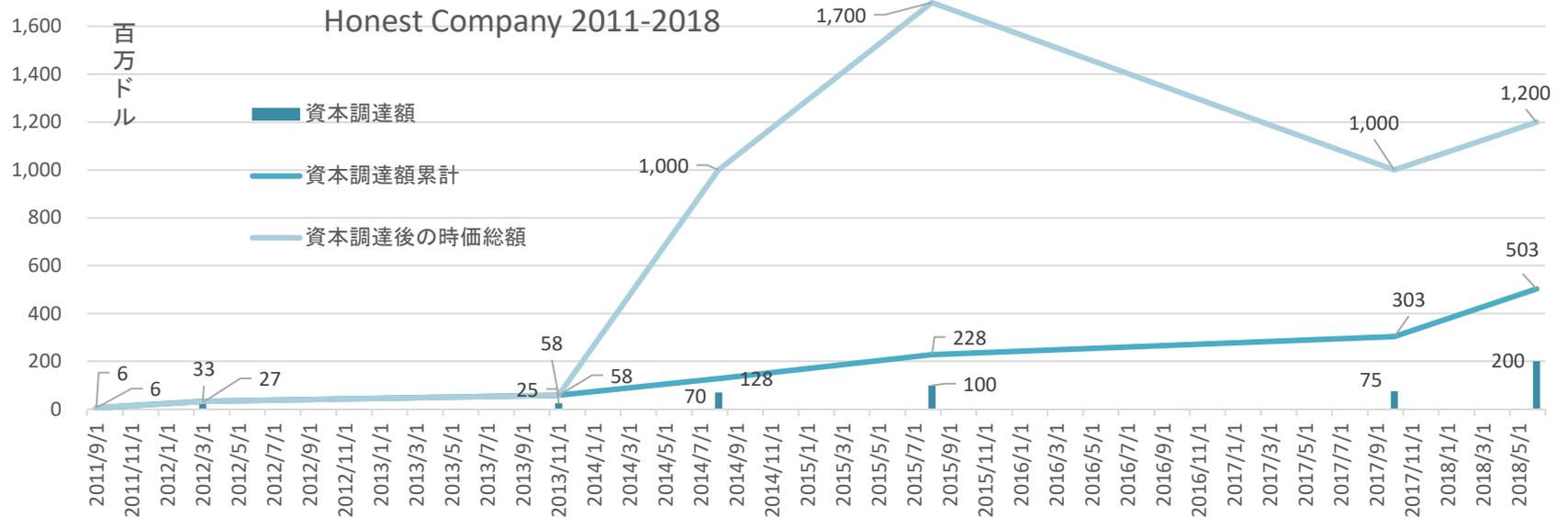
○TPIコンポジテス は、1968年の設立後、車両等の複合材料を製造してきた。2000年代に入って、風力発電用の羽の製造等に取り出し、まずベンチャーキャピタルの出資を受け、投資資金を確保し、レギュレーションDの私募等により未上場株式市場からの資本調達を続けて成長し、2016年にはIPOを実現した(時価総額は3億6000万ドルを超えた)。2017年にはPOを実施してさらに資本を増強している。



公表日、開始日等	ラウンド名等	資本調達額	資本調達額累計	免除規定等	募集額	SECへの提出日、効力発生日等
1968年	設立					
2007年10月12日	シリーズA	2,200万ドル	2,200万ドル			
2009年2月11日	VCラウンド	2,000万ドル	4,200万ドル	レギュレーションDルール506 優先株式の私募	2,000万ドル	2009年2月3日
2009年12月3日	シリーズB	2,600万ドル	6,800万ドル	レギュレーションDルール506 株式の私募	2,100万ドル	2009年6月2日
				レギュレーションDルール506 株式の私募	500万ドル	2009年11月24日
2010年6月17日	VCラウンド	900万ドル	7,700万ドル	レギュレーションDルール506 株式の私募	1,200万ドル	2010年6月29日
				レギュレーションDルール506 株式の私募	50万ドル	2011年3月1日
				レギュレーションDルール506 株式の私募	50万ドル	2011年4月5日
2012年2月14日	VCラウンド	500万ドル	8,200万ドル			
			(1ドル=110円)	レギュレーションDルール506(b) 社債、新株引受権、新株引受権付株式の私募	1,500万ドル	2014年2月25日
2014年5月14日	VCラウンド	318万ドル	8,518万ドル	レギュレーションDルール506(b) 株式、新株引受権、新株引受権付株式の私募	318万ドル	2014年5月15日
				上記の修正登録	742万ドル	2014年7月14日
				レギュレーションDルール506(b) 社債、新株引受権、新株引受権付株式の私募	1,500万ドル	2015年1月7日
2016年7月22日	IPO	6,490万ドル	1億5,008万ドル	株式の公募(株式登録届出書の提出)	7,358万ドル	2016年7月21日
2017年5月12日	PO	6,989万ドル	2億1,997万ドル	株式の公募(株式登録届出書の提出)	6,875万ドル	2017年5月11日

事例 2 - 2 Honest Company, Inc.

○環境にやさしい婦人・乳児向けの各種の日用品を販売するオネスト・カンパニーは、2011年の設立後、レギュレーションDに基づく私募等により未上場株式市場からの資本調達を繰り返して成長を続けている。セカンダリーマーケットで未上場株式が取引されて、時価総額も上昇し、2017年には10億ドルに達し、ユニコーン企業となった。2018年には投資会社から2億ドルを調達し、現在、IPOを準備している。



公表日、開始日等	ラウンド名等	資本調達額	資本調達額累計		資本調達後の時価総額		免除規定等	募集額	SECへの提出日、効力発生日等
2011年	設立								
2011年9月9日	Seed	600万ドル	600万ドル		600万ドル		レギュレーションDルール506 株式の私募	600万ドル	2011年9月26日
2012年3月23日	Series A	2,700万ドル	3,300万ドル		3,300万ドル		レギュレーションDルール506 株式の私募	2,100万ドル	2012年4月9日
2013年11月11日	Series B	2,500万ドル	5,800万ドル		5,800万ドル		レギュレーションDルール506 (b) 株式の私募	2,500万ドル	2013年11月14日
2014年8月26日	Series C	7,000万ドル	1億2,800万ドル	(1ドル=110円)	10億ドル		レギュレーションDルール506 (b) 株式の私募	7,000万ドル	2014年8月29日
2015年8月14日	Series D	1億ドル	2億2,800万ドル	250億8000万円	17億ドル	1,870億円	レギュレーションDルール506 (b) 株式の私募	1億ドル	2015年8月25日
2017年10月12日	Series E	7,500万ドル	3億0,300万ドル	333億3000万円	10億ドル	1,100億円	レギュレーションDルール506 (b) 株式の私募	7,500万ドル	2017年10月13日
2018年6月7日	Private Equity	2億ドル	5億0,300万ドル	553億3000万円	12億ドル	1,320億円			

事例 2 - 3 Gilmore Homes Gilmore Loans, LLC

○ジョージア州アトランタを本拠とするギルモアは、オフィスビル、商業施設、マンション等の不動産開発やテナントの業態開発、金融業などを営む。設立後、個人企業から会社形態となるときにレギュレーションDの私募で資本を調達して成長の基盤を固めた。2019年に現在の形態のLLCを設立した後、レギュレーションAのミニIPOで資本を調達し、大規模不動産開発とテナントの業態開発のための資金を得ることに成功した。

SECへの提出日、 効力発生日等	免除規定等	募集額 * 1	募集額累計
1993年	Michael Gilmore Development Co. 創業		
2006年1月9日	レギュレーションD 506 優先株式の私募	5,000万ドル	5,000万ドル
2006年1月20日	Michael Gilmore Co. に名称変更		
2018年8月25日	SEED ラウンド	3,000ドル	5000万3000ドル
2019年11月17日	Gilmore Homes Gilmore Loans, LLCへの変更		
2020年7月7日	レギュレーションA Tier2 株式の小規模公募	5,000万ドル	1億3000ドル

出所：SEEDラウンドの調達額はCrunch Base、免除規定とその募集額はSEC EDGAR。*1 2018年は調達額。

事例 2 - 4 Muscle Maker, Inc.

○マスカル・メーカーは、テキサス州バレーソンを本拠にして、サラダなどのダイエットフードを提供するレストランチェーンを運営する。1995年に創業し、2014年に現在の業態の会社を設立した後、急成長する中で、レギュレーションA(Tier 2)のミニIPOで資本調達を始めたが、脆弱な財務基盤のため株式の応募が不振で、ミニIPOは中止となった。

○その後、証券取引法第4条(a)(4)の私募で適格投資家私募から転換社債等で資本を調達し、また、OTC Marketに店頭登録するなど、体制を整えて、さらなる急成長のなかでIPOを実現した。

SECへの提出日、 効力発生日等	免除規定等	募集額
2014年	設立	
2017年12月12日	レギュレーションA Tier 2	1,995万ドル
2018年3月29日	レギュレーションA Tier 2の中止	
2020年2月12日	IPO/株式の公募 株式登録届出書の提出	805万ドル

出所：SEC EDGAR。